

國學院大學

教育学研究室紀要

2018

第53号

〔研究論文〕

- | | | |
|---|---------|----|
| 開放制教員養成の現在的意義と課題 | 多和田 真理子 | 1 |
| 「日本文学概説」を考える
—本質論としての難題へ— | 石川 則夫 | 17 |
| 教職教養における「道徳の指導法」に関する科目の問題 | 岩本 俊一 | 29 |
| 自己決定を育み、自己実現を促す生徒指導の理論と方法
—学びの公共空間づくり— | 平野 和弘 | 43 |
| メアリー・ウォーノックの教育哲学
—「良い人生」を可能にする想像力— | 高屋 景一 | 59 |
| 角田光代「ランドセル」の構造的読解
—パッケージとしての語り— | 井上 明芳 | 73 |
| キャリア教育としての国語教育
—「羅生門」の再生— | 高橋 大助 | 85 |

〔研究ノート〕

- | | | |
|--|-------|-----|
| 実践と現状の狭間で惑うこと
—紅野謙介『国語教育の危機—大学入学共通テストと
新学習指導要領』によせて— | 安西 晋二 | 99 |
| 地域を生かす社会科の授業づくり | 福田 恵一 | 107 |

〔特別寄稿〕

- | | | |
|---|------|-----|
| 【追悼 大田堯先生】
＜教育とは何か＞を問い続けたひとりの教育学者と
國學院大學教育学研究室のこと | 田嶋 一 | 113 |
|---|------|-----|